



WEEKLY REPORT

国際ロータリー 第2760地区 江南ロータリークラブ

2008-2009年度
国際ロータリー会長 李東建

承認 / 1965年 6月 25日
例会日 / 毎週木曜日 12時 30分
例会場 / 江南商工会館 1F 大会議場
〒483-8205 江南市古知野町小金112
TEL 0587-54-8132

事務所 / 江南商工会館別館 1F
〒483-8205 江南市古知野町小金112
TEL 0587-55-6554 FAX 0587-59-7720
e-mail kounanrc@beach.ocn.ne.jp
会長 / 鈴木 健治 幹事 / 庄田 元久 会報委員長 / 岩田 静夫

2008年(平成20年)8月28日(木) 曇 第2154回(当年度第8回)例会

点 鐘 会長 鈴木 健治君
司 会 SAA 澤田 昌久君
ロータリーソング 「我等の生業」
ゲスト及びビジター紹介
RI2760 地区 会員増強委員会委員長
名古屋東南ロータリークラブ 伊藤 秀雄様

会長挨拶 会長 鈴木 健治君

「日本の学力は下げ止まらないのか」

経済協力開発機構は15歳を対象に06年に実施した国際的な学習到達度調査の結果を公表しました。日本は、「読解力」で前回の03年より14位から15位、「数学的応用力」では6位から10位に順位を落としました。「科学的応用力」でも2位から6位に下がっています。

国際的にみると、読解力では韓国が1位、数学的応用力では台湾が1位、科学的応用力ではフィンランドが前回に引き続き1位でした。文部科学省が「世界トップレベルと言えない」と分析した前回調査からの3年間で対策は目に見えた効果をあげておらず、早急な対策が求められています。なぜ、日本の学力は下げ止まらないのか。現行の指導要領の年間授業時間は最も多かった時期より小学校6年生で13%減、中学3年生で15%減っています。

教育専門家は、調査のたびに落ちていくのは、ゆとり教育で授業時間が減った影響であることが明らかで、期間が長引くほどさらに低下するだろう、また、活用力を上げるには、教員が社会や生活上の疑問を提示するなど授業方法を改善しないといけない、大切なのは子供がじっくり答えを導き出す時間的な余裕をつくってあげることだと言っています。それに対し2008年2月に文部科学省は、2011年度から授業時間を全体で3~6%、理数系に限れば2009年度から前倒し実施で15%ほど増加させた指導要領改定案を発表しました。

いずれにしても私たちとしては、家庭で、地域社会で子供の安心、安全、給食費問題などできることから教育環境を整える必要を感じます。

幹事報告 別紙 幹事 庄田 元久君
祝 福 別紙 委員長 大池 武徳君
出席報告 委員長 熊澤 治夫君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
54名	41名	13名	82%
前々回(8月14日)休会			

出席100%表彰

皆出席 2年
猪子 明君



ニコボックス

副委員長 岩田 俊久君

ひっぱりだこの伊藤さんよく来て下さいました。お話し楽しみです。福田 清成君
RI2760 地区会員増強委員会委員長伊藤 秀雄様ようこそいらっしゃいました。本日の増強の卓話楽しみに拝聴させていただきます。

鈴木 健治、尾関 憲市、庄田 元久、松井 智義各君岩田静夫会報委員長殿、本日の会報はいつもに増して素晴らしい出来栄です。先週のクラブ奉仕委員会担当の小生の卓話は、まったく無原稿での提出にもかかわらず、誤字、脱字もなく実に端的に要旨が纏められ非の打ち所のない内容でした。ここに改めて、岩田静夫君の隠れた才能に賛辞を送ると共に謝意を表します。大塚 祥敬君

地区会員増強委員会委員長 伊藤様 卓話宜しく
お願い致します。岩井 正彦君

RI第2760地区 会員増強委員会委員長
伊藤 秀雄様 本日は宜しくお願い致します。
岩田 俊久、樋江井 誠、大塚 祥敬、景山 芳樹、
倉知 正憲、安藤 喜代司、松岡 一成、早川 正輝、
富永 典夫、杉浦 賢二、稲山 赫己、大池 武徳、
澤田 昌久、片平 博己、猪子 明、南村 朋幸 各君

「会員増強について」

RI第2760地区 会員増強委員会委員長
名古屋東南ロータリークラブ 伊藤 秀雄様



ご紹介いただきました、伊藤でございます。大先輩の方々の前でお話をするので大変緊張しております。

現在の幾つかのロータリークラブには「入ってください、入ってください」とお願いし、「そこまで頼むなら入ってやるわ」というクラブがあるように聞きます。

私個人はロータリークラブに私からお願いして入らせていただいたという感じでありました。その時は誇りに思いましたし嬉しかったです。それから17年経ちます。その時名古屋東南ロータリークラブは、99名のメンバーでした。それから15年、富士山を直滑降するが如く、67名まで減ってしまいました。そしていよいよ片山ガバナを輩出しなくてはならなくなり、どうしても地区の方へ15人程出さないといけなくなりました。江南さんも昨年地区大会を盛大にされてお解りだと思いますが、大きな事業をしようとどうしてもメンバーがいる訳です。そこで会長の私としましては会員を100人にする目標を立ててメンバーに奮起を促したんですが、メンバーは人ごとのようにしか聞いていません。何故かという心の中では誰かがやるだろうと安易に考えている人が多かったのです。会長一人が空回りしてしまい、本当にやる気になってやらないと出来ないと感じました。そこで単年度での会員増強はやめて三年計画とし、「チャレンジ100」というタイトルでプロジェクトチームを作り、副会長を二人にし、そのうちの一人をプロジェクト専任にして三年連続で役に就いていただくということをしました。

三年間で毎月1回例会にお友達を呼ぶように頼みました。三年に1回なら無理なく呼べると思っています。そして費用は無料にします、内部的には拡張費として計上したらいいと思います。

今、名古屋ではライオンズからロータリーに変わってくるメンバーもいます。江南のように狭い地域でライオンズから引き抜くというのよくないと思いますが、ロータリーに入れていただきたいという現象を作っていかなければならないと思います。大事なことは「入ってくれ、

ではなく、広報という意味で「ロータリーに触れる・ロータリーに触る・食事を共にしてもらおう・ロータリーとはこんなものかと知っていただく」だけを目的に例会にお連れする、そして増強という言葉は一切外すのです。

ロータリーのプライド・ステータス・誇り・自信をもう一度持とうではありませんか。頼んで入会してもらうのでは不良会員が出てくるのではないのでしょうか？

お陰様で去年は28名入会していただきました。二年前までは例会場もまばらな感じでしたが、最近では10分前に満席になります。しかしわざと席を増やしません。早く行かないと席がない状態にすることで集合時間が早くなってきます。そこで喫茶ルームを作り、セルフのコーヒーを飲みながら会話できる場とし、活性化を図っております。

具体的に申しますと、お友達を例会にお招きしたらまず会長・副会長・幹事と名刺交換しメインテーブルについていただき、隣にはクラブ内の名士の方々に座っていただき会食をしていただきます。大抵の方はびっくりし恐縮されます。もちろん増強の言葉は一切使わないし会長挨拶でも言いません。気持ち良く帰っていただきます。その後一週間くらい連絡を取らず本人がやきもきした頃に挨拶に伺うと、相手は半分以上入会の気持ちが出てきます。そこで色々説明し納得していただきます。その後、また一週間くらい様子を見て申込書をお渡しし、理事会・審査と進めていきます。こうしてお誘いで当クラブは7割の方の入会に成功しております。

「ロータリーの進化論」とでもいいますか、新入会員が三ヶ月もすると友人を誘うようになり、又増強にもつながります。長年のメンバーに比べると新しい友人が多い訳です。また、テリトリーの問題や名前のこだわりがあって入会できない方がいた時は変更するように考えました。ただ名前変更は支障があり実現できません。また、女性経営者を増強することも例会が華やかになりいい効果を出しますので、ひとつのターゲットだと思います。あの世界のトヨタも日々進化しております。ロータリーも基本的なところは大事にし、時代に合わせたロータリーでもいいのではないのでしょうか？

他に、私がしたこととしては、やる気のないメンバーを整理する、つまり例会等ではっきりと退会を勧告するという事です。そうすると半分くらいの方は、真面目に出席され例会の雰囲気も良くなります。

最後にもう一度申し上げますと、皆様方にロータリーのステータス・プライド・誇り・自信を絶対に持っていただきたいということです。ライオンズと比べる必要はありません。

色々申し上げましたが、江南RCさんが名門ロータリークラブとして復活していただくことをお願いして卓話にさせていただきます。ありがとうございました。

(担当:杉本安)

